

第1講座

講演に先立ちヴァイオリンとシンセサイザーの演奏があります

2月12日(土)

演題「江戸のエコロジスト 一茶」

負けるな一茶これにあり！
自然と人間の調和、一茶晩年の生き方に、「心のエコロジー」を学ぶ。
フランスで人気トップの“百姓俳人”小林一茶の眼から現代社会を見つめ直す。フランス人俳人による新しい一茶論。

講師 マブソン青眼(せいがん)先生

俳人、比較文学者。フランス生まれ。パリ大学大学院日本文学研究科博士課程修了、早稲田大学大学院教育学研究科博士課程修了、博士(学術)。信州大学人文学部非常勤講師。
1996年から長野市に居を構え、俳人・小林一茶の研究と執筆活動に専念する。
句集に『空青すぎて』(第3回雪梁舎俳句大賞受賞)ほか、エッセーに『一茶とワイン—フランス流俳諧の楽しみ』、近著に『江戸のエコロジスト一茶』等



♪ミニコンサート

ヴァイオリンとシンセサイザー演奏曲目

- ・愛のあいさつ(エルガー)
- ・白鳥(サン・サーンス)
- ・落葉松(詩:北原白秋 曲:小林秀雄)
- ・早春賦(詩:吉丸一昌 曲:中田章)
- ・一茶のおじさん

第2講座

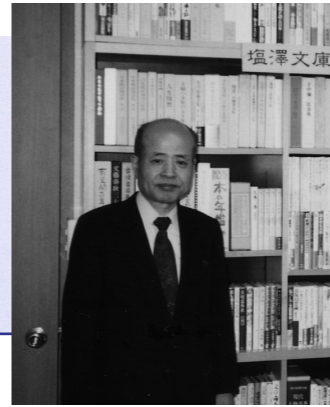
3月5日(土)

演題「出版王国・信州の名著を旅する —藤村からもろさわようこまで—」

筑摩書房創業者で伝説的出版人『古田晁伝説』の著者が、日本を代表する出版人を輩出した出版王国信州の文化的風土と、島崎藤村、島木赤彦、椋鳩十、平林たい子、白井吉見、新田次郎、山本茂美、もろさわようこ等の信州ゆかりの文人とその名作の舞台を、昭和のベストセラーの時代とともに縦横に語りながら名著の世界を旅します。

講師 塩澤実信(しおざわ・みのぶ)先生

長野県飯田市生まれ。双葉社取締役編集局長を経て、東京大学新聞研究所講師等を歴任。元日本レコード大賞審査委員、日本ペンクラブ会員。主な著書に『出版社の運命を決めた一冊の本』『雑誌記者 池島信平』『動物と話せる男』『出版社大全』『出版王国信州の山脈』『愛唱歌でつづる日本の四季』『文芸春秋編集長』『戦後出版史』ほか多数。



第3講座

講演に先立ちシンセサイザーの演奏があります

3月19日(土)

演題「源氏物語おんなたちの世界」

松代藩真田家などの大名や松本の商家をはじめ庶民の家々に伝わる屏風や掛け軸、かるたなど源氏絵にあらすじを添え、登場人物の生き方などで源氏物語の世界を語る。
心に空洞をかかえ、満たしてくれる誰かを求めて恋愛遍歴をするプレーボーイ光源氏の愛することと苦しみと、源氏物語の世界と絵の世界が交錯する。

講師 堀井正子(ほりい・まさこ)先生

東京・横浜育ちで現在長野市在住。SBCラジオ「武田徹つれづれ散歩道」にレギュラー出演し、作品や作家について楽しく語る。主な著書に『近代文学にみる女と家と絹物語』『本の中の信州白樺教師』『戸隠の絵本—津村信夫その愛と詩』『ふるさとは、ありがたきかな女優・松井須磨子』『ことばのしおり』『源氏物語おんなたちの世界』等。



♪ミニコンサート

シンセサイザー演奏曲目

- ・城を彩る千本桜(本内貴大作)
- ・日本歌曲から
- ・うれしいひなまつり